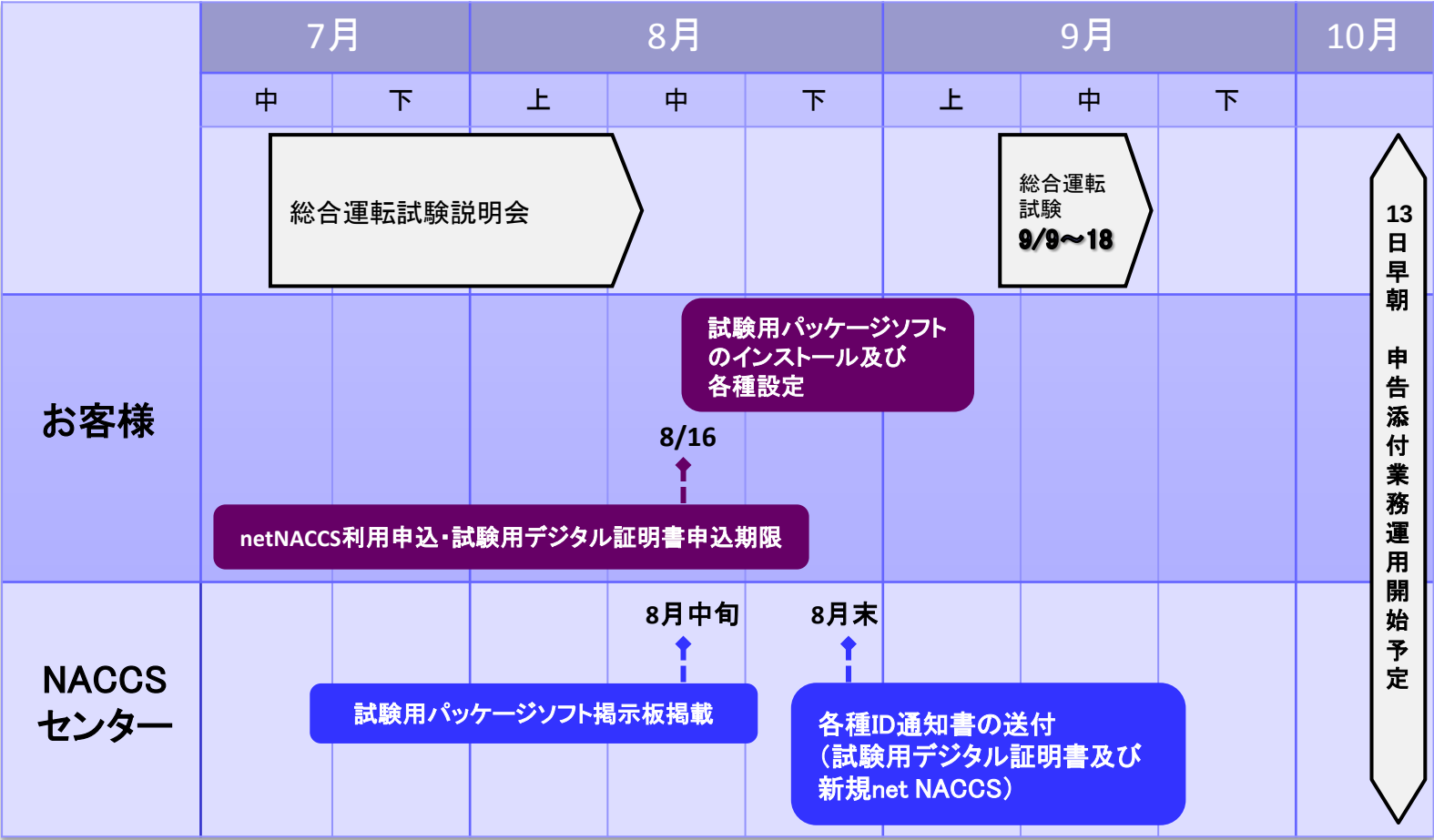


「申告添付業務 総合運転試験」実施要領

平成25年7月

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

I.通関関係書類の電子化運用開始までのスケジュール



※現時点での予定であり、変更する場合があります。

目的

総合運転試験は、平成25年10月の通関関係書類の電子化の円滑な運用開始に備え、事前に接続試験環境において、新規業務のシステム処理を確認していただくことを目的としています。

項目

- (1) 新規業務の正常動作の確認
- (2) 利用者システムの業務処理機能の確認
- (3) 疑似データ・自社データ（過去の実績データ等）による業務手順確認及び実践練習
- (4) 疑似データ・自社データ（過去の実績データ等）を使用し、上流業務から下流業務までデータが正しく流れることを確認する導流確認

総合運転試験は、申告添付業務を円滑にご利用いただくための大切な機会です。
可能な限りご参加いただきますようお願いします。



対象者及び対象業務

対象者

- ・ 民間利用者（利用業種：通関業）
- ・ 税関



対象業務

- ・ 通関関係書類の電子化に係る新規業務及び関連業務
ただし、次の業務を除く。
 - ①利用者設定情報登録業務
 - ②MPN関連業務
 - ③手数料電子納付業務
 - ④自動起動処理（開庁時申告「K」は登録可能ですが、自動起動処理は実行されません。）

実施日程

区分	対象者	期間	時間	主な目的
期間Ⅰ	全利用者	9/9（月）・9/10（火） 及び 9/13（金）～9/18（水）	9：00 ～ 17：00	①疑似データ及び自社データによる実践練習 ②業務機能確認 ③業務連動確認
期間Ⅱ	全利用者	9/11（水）・9/12（木）	9：00 ～ 17：00	①疑似データ及び自社データによる実践練習 ②業務機能確認 ③業務連動確認 ④実運用に即した業務運用確認

※本試験実施期間中において、17:00以降に本試験対象業務を実施することは可能です。
ただし、税関開庁時間外の申告等はエラーとなりますのでご注意ください。

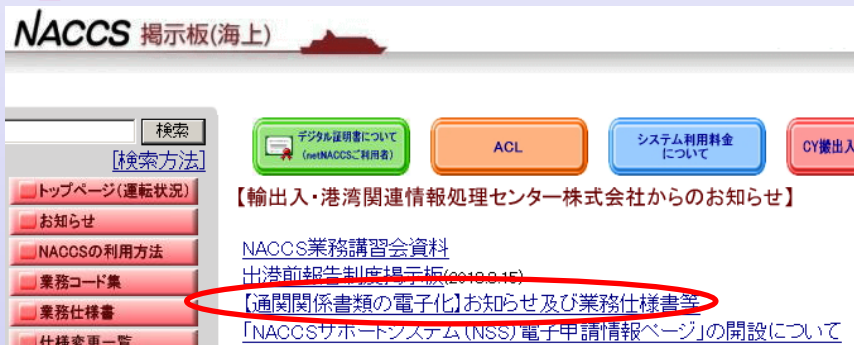
※本試験期間における税関開庁時間は実運用と同様とします。

事前準備等-1

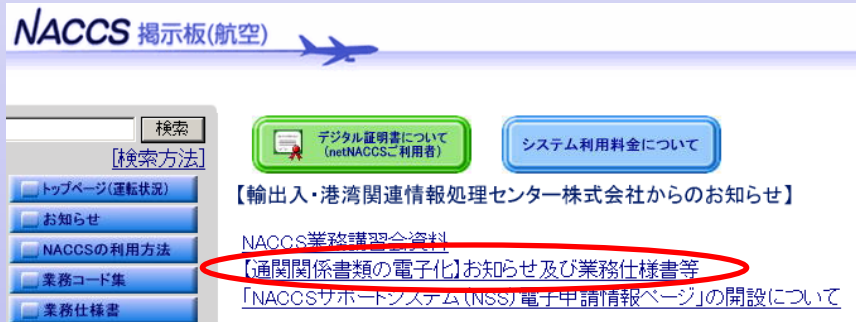
①業務仕様書等

NACCS掲示板に掲載している通関関係書類の電子化に係る各種資料及び業務仕様書等を確認してください。

Sea-NACCS



Air-NACCS

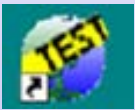


資料「試験用パッケージソフト
ダウンロード手順」もこちらに
掲載しています。

事前準備等-2

②パッケージソフト

試験用パッケージソフトを用意します。
平成25年8月中旬にNACCS掲示板に
掲載しますので、利用者端末に
ダウンロードを行ってから業務
を実施してください。



【参照】試験用パッケージソフトダウンロード手順(掲示板掲載)

③添付ファイル名

添付ファイル名の先頭に「TEST」の
文字を付してください。※本試験中に限る。

(例) 「invoice12000000000.pdf」



「**TEST**invoice12000000000.pdf」

④利用者ID及びパスワード

- 利用者ID・メールボックスID (8桁) ⇒ 本番用を使用
- パスワード (8桁) ⇒ 平成25年6月5日時点の本番用パスワードを以下のとおり
変更して使用

本番用パスワード	1 2 3 4 5 6 7 8
本番用パスワードの下3桁を「TST」に変更 ↓	
試験用パスワード	1 2 3 4 5 T S T

※本番用パスワードが3桁以下の
場合は末尾に「TST」を追加。

例) 123⇒123TST

事前準備等-3

⑤疑似データ

申告添付登録業務を行うためには、先行して輸出入申告業務を実施していただく必要があります。以下のとおりNACCSにおいて疑似データをご用意しますが、事前のご依頼が必要な場合がありますのでご注意ください。

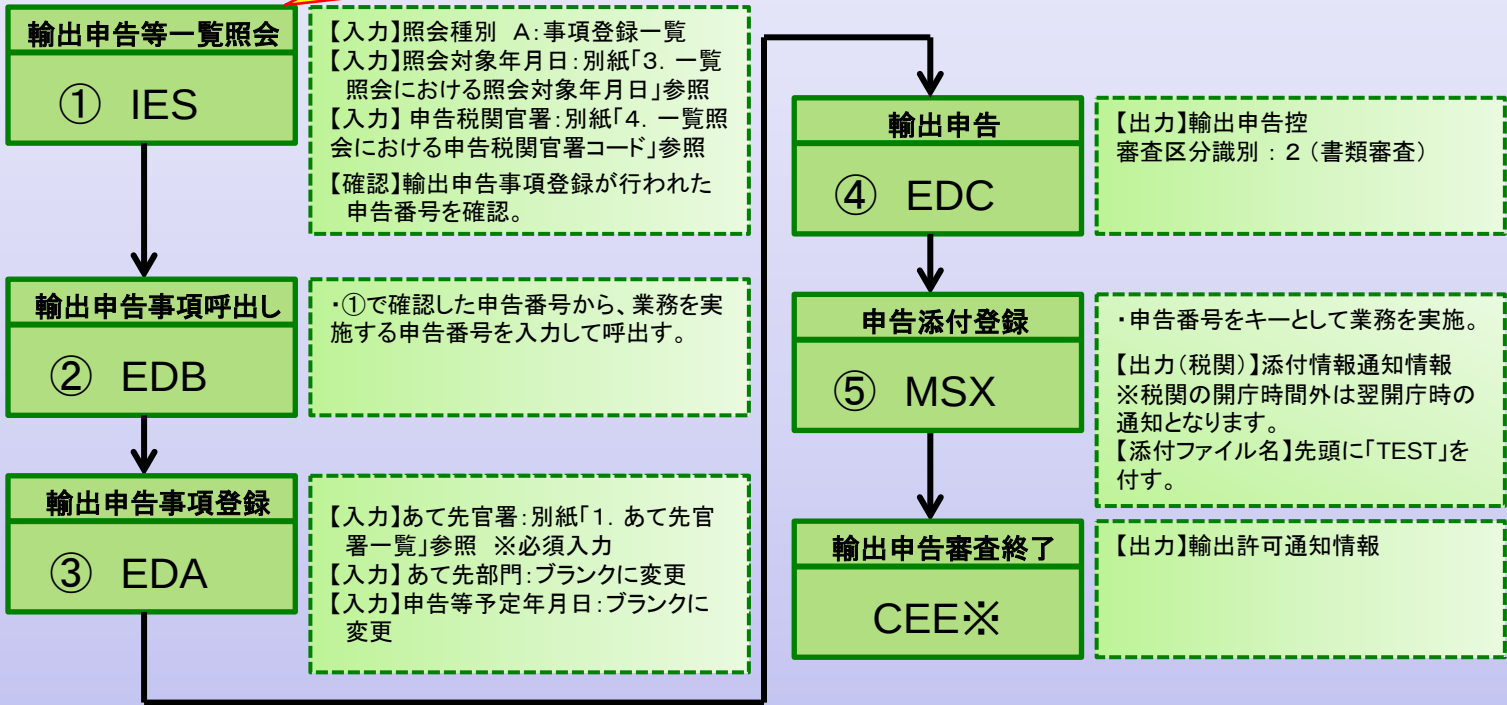
	申告手続き	疑似データ作成内容
①	IDC・EDC・UEC(海上)	NACCSにおいて、申告事項登録まで終了したデータをシステムに登録します。一覧照会業務(IDI・IES・IUE)から申告番号を参照し、呼出し業務(IDB・EDB・UEB)からご利用ください。
②	MIC・MEC	MIC・MEC用の疑似データは作成していませんが、①のデータをご利用いただくことが可能です。P11参照
③	HFC(輸出)	NACCSにおいて、輸出貨物情報登録(ECR)まで終了したデータをシステムに登録します。 本試験において当該業務の実施を希望する方には、NACCSセンターから疑似データを配布しますので、NACCSセンターシステム総括課までご連絡願います。
④	CTC・HFC(輸入)・UEC(航空)	貨物情報を登録したデータを用意しています。 本試験において当該業務の実施を希望する方には、NACCSセンターから疑似データを配布しますので、NACCSセンターシステム総括課までご連絡願います。

業務内容-1

①業務フロー-1

輸出申告後に申告添付登録業務を実施する場合の業務手順。

申告事項登録まで登録済みの
疑似データを利用



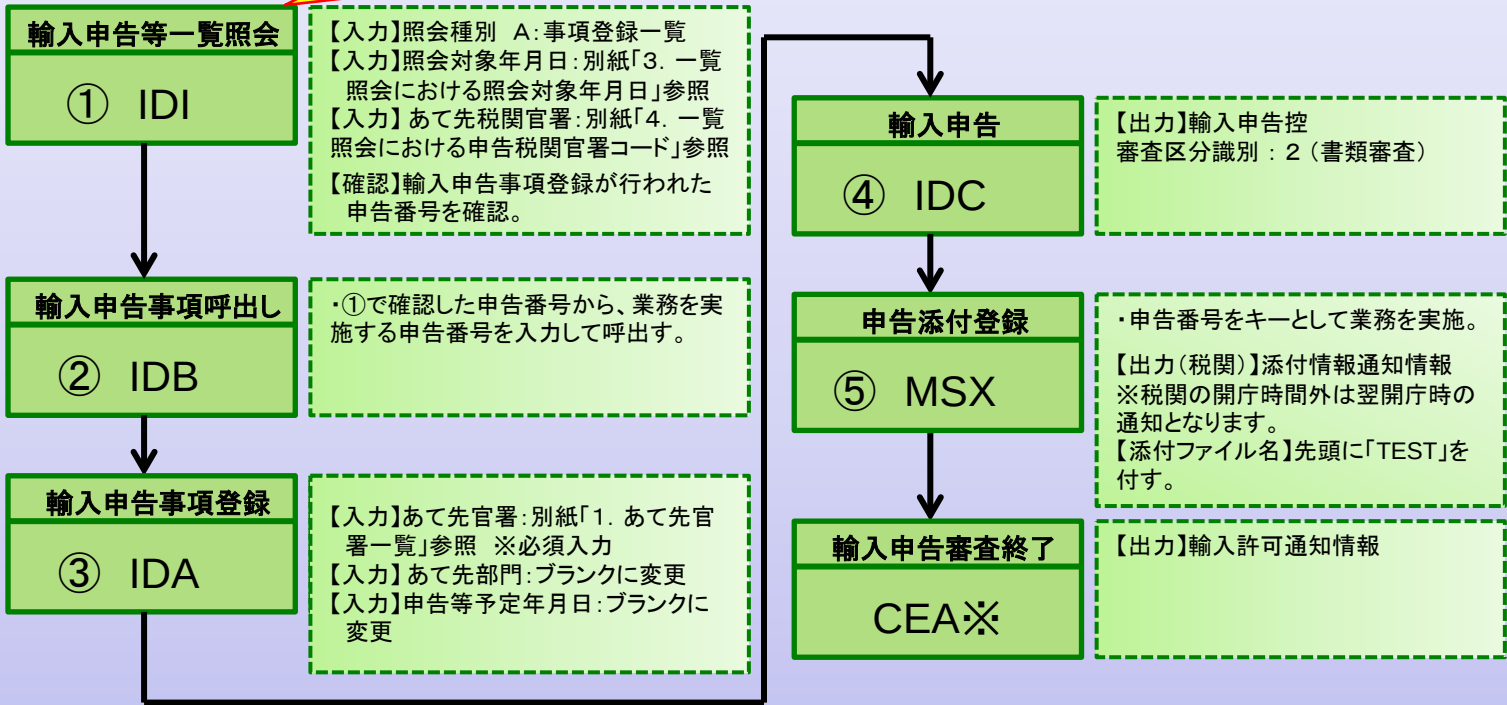
※税関による審査終了は、9/11及び9/12のみ実施されます。

業務内容-2

①業務フロー-2

輸入申告後に申告添付登録業務を実施する場合の業務手順。

申告事項登録まで登録済みの
疑似データを利用



※税関による審査終了は、9/11及び9/12のみ実施されます。

業務内容-3

②疑似データの使用

お客様の利用者IDに対し、以下のとおり疑似データが設定されています。

	データ登録件数	申告手続き	疑似データ利用方法
(例)1ANAC (お客様の利用者コード5桁単位に疑似貨物情報を設定)	Air輸出申告用 10件	EDC	一覧照会業務(IES)から事項登録済の申告番号を参照し、呼出し業務(EDB)からご利用ください。
		MEC	一覧照会業務(IES)から事項登録済のAWB番号を参照し、輸出貨物情報照会(IGS)にて確認した貨物情報を直接MEC画面に入力してください。
	Air輸入申告用 10件	IDC	一覧照会業務(IDI)から事項登録済の申告番号を参照し、呼出し業務(IDB)からご利用ください。
		MIC	一覧照会業務(IDI)から事項登録済のAWB番号を参照し、輸入貨物情報照会(IAW)にて確認した貨物情報を直接MIC画面に入力してください。
	Sea輸出申告用 10件	EDC	一覧照会業務(IES)から事項登録済の申告番号を参照し、呼出し業務(EDB)からご利用ください。
	Sea輸入申告用 10件	IDC	一覧照会業務(IDI)から事項登録済の申告番号を参照し、呼出し業務(IDB)からご利用ください。
	Sea別送品用 5件	UEC	一覧照会業務(IUE)から事項登録済の申告番号を参照し、呼出し業務(UEB)からご利用ください。

※HFC・UEC(航空)・CTCの実施を希望する方は、NACCSセンターシステム総括課までご連絡願います。

業務内容-4

③自社データの使用

自社データを使用して各業務の実践練習等を行うことも可能ですが、審査区分が「1 Y」または「2」以上にならない場合は申告添付業務を実施することができません。

自社データを使用する場合であっても、審査区分が「2」になるよう設定された疑似輸出入者コード「P002A2220000」を使用してください。

※自社通関を除く。 P.17 ⑩「輸出入承認証等識別」参照

④各種照会業務等

疑似データ及び自社データで登録した業務については、各種照会業務、再出力業務等を行うことが可能となっています。

業務内容-5

⑤審査終了対応(期間Ⅱ)

期間Ⅱにおける導流確認では、通関業者と税関で連携して業務を実施し、データ処理が正常に行われるか確認します。

- ①通関業者は審査区分が「2」以上となった輸出入申告等に対し、以下（A）の時間帯にMSX業務及びMSY01業務を実施してください。
- ②税関は（A）の時間帯に実施されたMSX及びMSY01業務に対し、添付ファイルの取得を行い、各回（B）の時間帯において審査終了業務を実施します。

	添付登録時間帯(A)		審査終了時間帯(B)
1回目	9/11(水)09:00～12:00	⇒	9/11(水)13:00～14:00
2回目	9/11(水)12:00～ 9/12(木)12:00	⇒	9/12(木)13:00～14:00

(注) 期間Ⅰ(9/9(月)・9/10(火)及び9/13(金)～9/18(水))及び税関の対応時間外においては、原則税関による審査終了等業務が実施されません。

留意事項-1

出力帳票

パッケージ利用者の場合、「輸入申告控」、「輸出申告控」等の出力帳票上に「TEST」の文字が印字されます。

納付書・ 領収証書

パッケージ利用者の場合、納付書上に「TEST」の文字が印字されます。
出力した「納付書・領収証書」は、金融機関及び税関へ持ち込まないでください。

添付ファイル名

本試験においては、添付ファイルが試験であることを明確にするため、添付ファイル名の先頭に「TEST」の文字を付してください。

申告後訂正等の 取扱い

本試験における申告後又は許可後の申告訂正については、税関の事前了解を必要としない取り扱いとします。ただし、申告添付訂正業務(MSY01)は、本番同様の運用を想定し、事前に税関へ申し出た後に実施してください。

納付方法 の制限

本試験において、輸入申告に係る納付方法は、「NACCS専用口座による口座振替」、「包括納期限延長」又は「直納」のみご利用いただけます。
※「リアルタイム口座振替方式(ダイレクト方式)」及び「MPN利用納付」は対象外。

処理能力

接続試験環境は、本番環境とは異なるため、大量データを多量に送信された場合、オーバーフロー等が発生し、業務が遅延または実施できなくなるなどの事象が引き起こされる可能性がありますのでご注意ください。

留意事項-2

試験用パッケージソフト(netNACCS)のダウンロードについて

総合運転試験においてnetNACCSを利用するお客様については、試験用パッケージソフトをダウンロードする端末に、デジタル証明書がインストールされている必要があります。以下②に該当する場合は、「総合運転試験用netNACCSデジタル証明書発行依頼書(掲示板掲載)」を提出してください。

①	本番で使用しているnetNACCS端末と同一の端末に試験用パッケージソフトをダウンロードする場合	別途デジタル証明書の発行は必要ありません。
②	本番で使用しているnetNACCS端末とは別の端末（インターネット回線に接続しているもの）に試験用パッケージソフトをダウンロードする場合。	別途デジタル証明書の発行が必要です。「総合運転試験用netNACCSデジタル証明書発行依頼書(掲示板掲載)」を平成25年8月16日(金)までにシステム総括課へ提出してください。なお、当デジタル証明書は総合運転試験期間専用となりますのでご注意ください
③	現在netNACCSをご利用されていないお客様で、総合運転試験をnetNACCSで実施する場合。	利用者コードにnetNACCS用の識別番号の付与が必要です。総合運転試験終了後も利用するID等として、本番用のnetNACCSの利用者ID(net識別)及びnetNACCS端末の利用申込を行ってください。ご希望の場合は、平成25年8月16日(金)までに最寄りの地域サービス課・事務所へお申込みください。

◎新たに発行した総合運転試験専用のデジタル証明書で利用する端末情報(論理端末名及び端末アクセスキー)は、本番で使用している端末情報をご利用ください。

システム環境-1

①輸出入者コード

■疑似輸出入者

審査区分が必ず「2」となる疑似輸出入者を設定

輸出入者コード：P002A2220000

◎自社通関において、当該輸出入者コードの利用はできません。

→「⑩輸出入承認証等識別」をご利用ください。

②関税等納付専用口座

■本番環境で使用中の専用口座

平成25年6月5日(水)時点で有効な口座が利用可能

金額は全口座一律9,999,999,999円を設定

■全通関業者共用の疑似口座

口座名義:輸入者「P002A2220000」

口座番号:00090017000001

金額は9,999,999,999円を設定

◎口座使用時間帯：常に使用可能

◎口座残高：本試験期間中残高は積み増しされません。

③据置担保

■本番環境で使用中の担保

平成25年6月5日(水)時点の担保情報を移行し設定

担保残高は平成25年6月5日(水)時点の残高を設定

■全通関業者共用の疑似担保

担保提供者:輸入者「P002A2220000」

担保登録番号:1AP000002

金額は9,999,999,999円を設定

◎口座残高：本試験期間中残高は積み増しされません。

④フライト情報

平成25年6月5日(水)時点で本番環境に登録されている情報を設定

⑤為替レート

平成25年6月5日(水)時点の情報を設定

⑥適用税率等

平成25年6月5日(水)時点の情報を設定

システム環境-2

⑦船舶基本情報

■本番環境に登録されている情報

平成25年6月5日(水)時点で登録されている情報を移行し設定

■疑似船舶基本情報

船舶コード: JNACM01

船名: FUNAGAISHA-TMP(NACCS)

船会社コード: TPM

⑧保税地域コード(本船)

■疑似保税地域コード(本船)

本船ふ中扱いにおいて疑似保税地域コード(本船)を設定。疑似データをご利用の場合は、以下の管轄官署に申請してください。

保税地域コード	管轄官署	保税地域コード	管轄官署
1AHSM	1A	6AHSM	6A
2AHSM	2A	7NHSM	7N
3AHSM	3A	8AHSM	8A
4AHSM	4A	9AHSM	9A
5AHSM	5A		

⑨機用品品名

■本番環境に登録されている情報

平成25年6月5日(水)時点で登録されている情報を移行し設定

■疑似機用品品名

輸入者TP(受託A/Lコード)に対し、以下の品名を登録

A011	A561	XY71	QH81	QLT1
------	------	------	------	------

⑩輸出入承認証等識別

本試験において**自社通関**の申告は審査区分「2」になりません。「輸出入承認証等識別欄」に以下のコードを入力すると、審査区分が「1Y」になりますので、申告添付登録業務が実施可能です。

■疑似輸出入承認証等識別コード

審査区分が必ず「1Y」となる疑似輸出入承認証等識別を設定

輸出入承認証等識別者コード: TEST

◎輸出入者「P002A2220000」を使用した申告では審査区分「1Y」にはなりません。



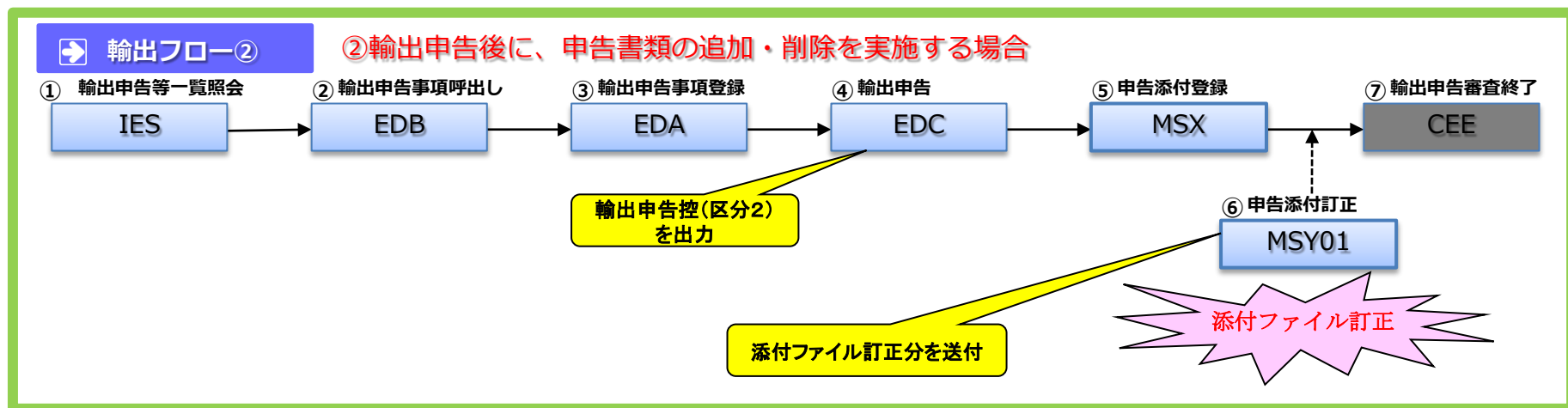
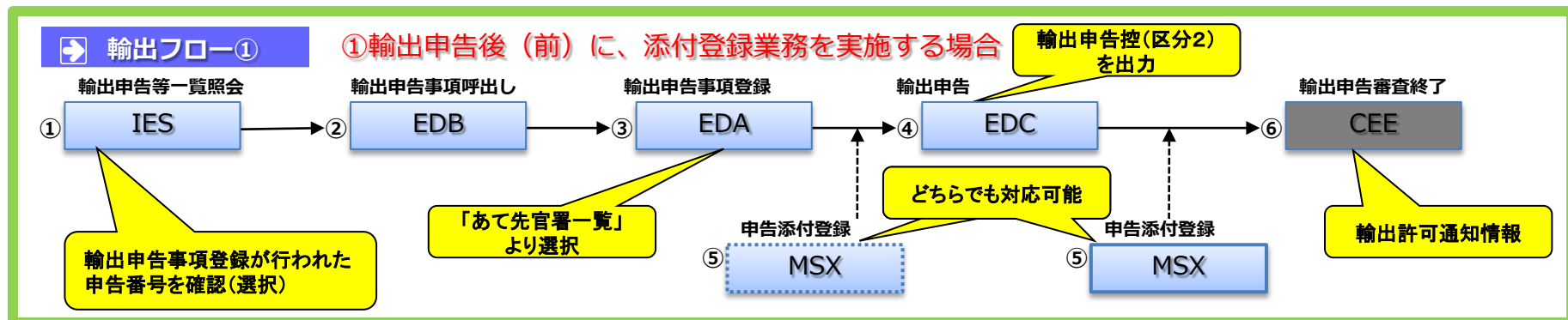
申告添付業務 総合運転試験の問合せ先

問合せ先			問合せ可能時間
システム部 システム総括課	【メールアドレス】 tmptst@naccs.jp		各実施期間中 終日 ※平日9:00～17:00以外に受信したメールは 翌営業日対応とさせていただきます。
	【TEL】 03-5460-0902	【FAX】 03-5460-0925	各実施期間中 月曜日～金曜日 (祝祭日を除く) 9:00～17:00

- (注1) お問合せの際は「申告添付業務 総合運転試験」に係る相談である旨を明確に記載又はお伝えください。
- (注2) 総合運転試験期間中、センター側システムにおいて障害が発生した場合、障害の状況によっては終日試験が行えない場合も考えられます。センター側システムの障害状況等の詳細については、NACCS掲示板に掲載しますので、同掲示板を確認してください。
- (注3) 本番環境にトラブルが発生した場合は、当該対応を優先しますので、申告添付業務 総合運転試験の対応が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。

※関連省庁システム統合にかかるお問合せ先は企画部企画2課(Tel.044-520-6253)になりますのでご注意ください。

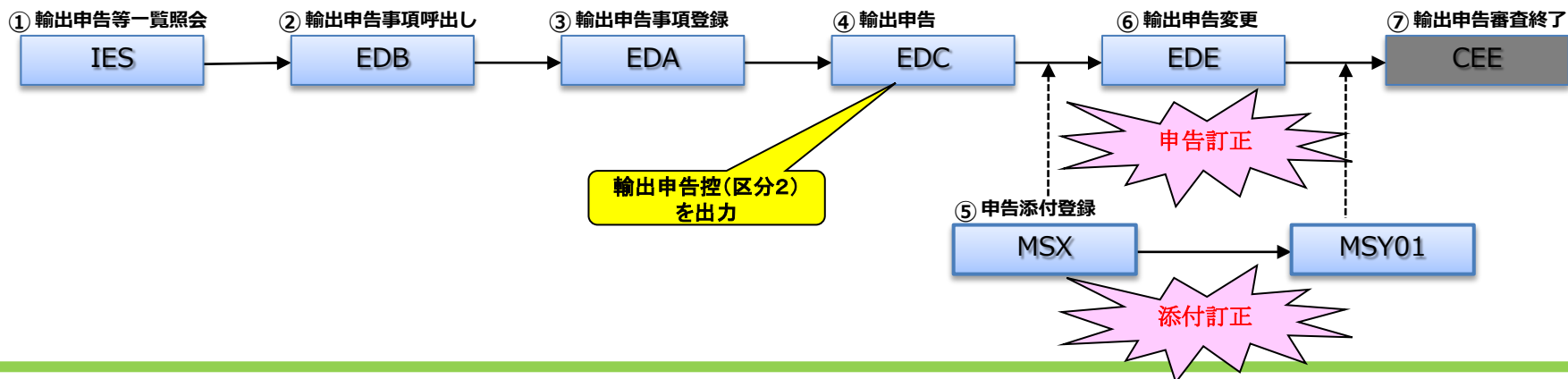
【参考】 「申告添付業務総合運転試験」 基本フロー



※あて先官署は、別紙「あて先官署一覧」より選択いただきます。
 ※申告予定年月日はblank（スペース）にすることによりシステム日付を払い出します。
 ※税関による審査終了は9/11及び9/12のみ実施されます。

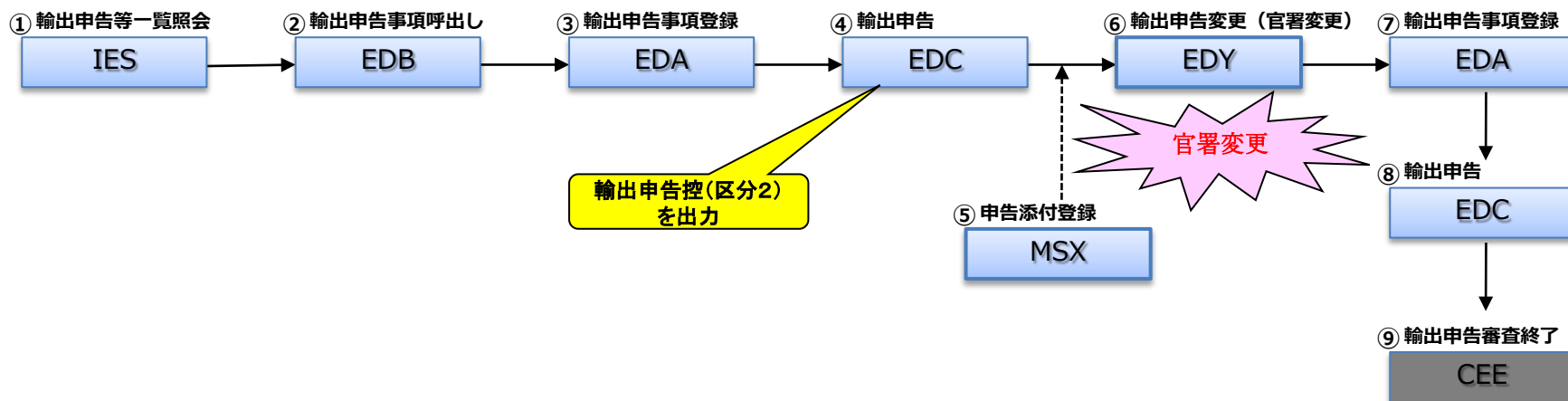
➡ 輸出フロー③

③輸出申告変更後に、申告書類の追加・削除を実施する場合



➡ 輸出フロー④

④輸出申告・添付登録後に、申告官署変更が発生した場合



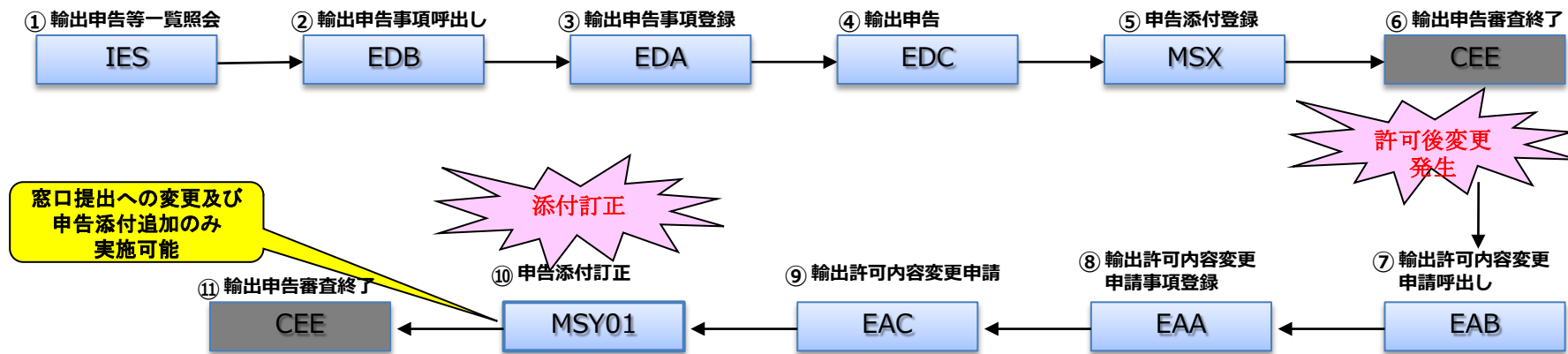
※あて先官署は、別紙「あて先官署一覧」より選択いただきます。

※申告予定年月日はblank（スペース）にすることによりシステム日付を払い出します。

※税関による審査終了は9/11及び9/12のみ実施されます。

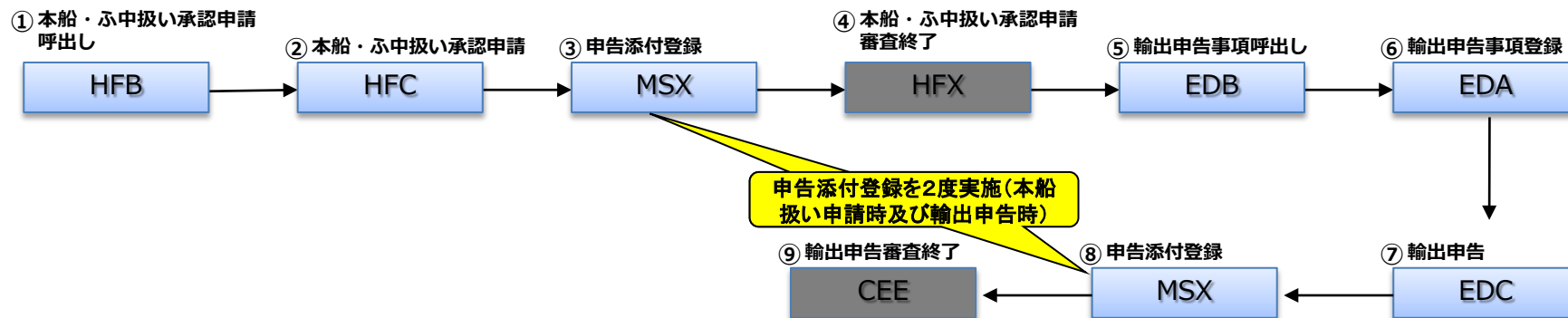
➡ 輸出フロー⑤

⑤輸出申告後に、許可後変更が発生した場合



➡ 輸出フロー⑥

⑥本船・ふ中扱いの輸出申告・申告添付登録を行う場合



※あて先官署は、別紙「あて先官署一覧」より選択いただきます。

※申告予定年月日はblank（スペース）にすることによりシステム日付を払い出します。

※税関による審査終了は9/11及び9/12のみ実施されます。